

新聞の活用

前回、新聞の切り抜きとその情報発信について書きました。その流れの中で先日ある新聞に「新聞を活用して高める3つの力」という記事がありました。受け売りになりますますがそのことを書かせていただきます。一つは「書く力」わかりやすく正確な文章を書くことによって、報告書や企画書などの文書の質と業務の効率を向上させることができる。「読む力」では、現代の膨大な情報の海から必要なもの、役立つ内容を短時間で選びとる目を養う。「話す力」は、話題の引き出しを増やすとともに、社会的な分析力をアップさせ、異世代や異業種の人たちとのスムーズなコミュニケーションにつなげるとありました。私自身は若いころから読むこと、書くこと、表現することが苦手でした。新聞の切り抜きを30代半ばから始めて、少しずつできるようになってきました。定年前には介護の本を出し、定年後の今では執筆もよく頼まれ、書けるように！ただ書くに当たって新聞や本を読んだり、様々な専門家のセミナーを聴きに行ったり、そのことをわかり易くパワーポイントにまとめ、講演や研修、営業トークや他の業種との対話に使用したりして、何とかものになってきた感があります。やればできる、勉強すれば、続ければできる。そのことを身近な部下や後輩に伝えていただければ「3つの力」がついてくると思います。

長嶺堅二郎

